

令和3年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立増田西小学校

教諭 齋藤 幸恵

1 研究主題

将来積極的に社会に参画していく納税者を育む指導の工夫
～段階的に継続して育むカリキュラムを通して～

2 主題設定の理由

消費税増税、脱税問題などの税金に関わるニュースがメディアで取り上げられることが多い。そのため、多くの児童は「税金」という言葉を知っているが、税金とは何か、税金の使い道など正しい知識を身に付けている児童はほとんどいない。さらに、「消費税が10%になる」「お金がとられる」とマイナスイメージをもっている児童も少なくない。

本校は2019年にエアコンが各教室に設置されたが、その費用にも税金が使われている。児童の身近で税金は使われているものの、そのことには気付いていない。

そこで、小学校段階から、税金に関する学習を取り入れ、税金の大切さを理解させることが必要である。自分たちの学校や街と税金との関わりを学習することによって、税金の役割やその必要性をより身近なものとして感じられるようにしたい。また、その活動を通して税金は「とられるもの」ではなく、私たちの安心・安全な暮らしを支えるために「必要なもの」という発想の転換を行い、積極的に社会に参画していく納税者を育成することにつなげていきたい。

また、租税教育の現状として、時数の確保と継続性が課題に挙げられる。そこで、小学校6年生だけで行うのではなく、小学校3年生から段階的に少しずつ租税教育を行っていきたい。段階的に無理なく行うことができるカリキュラムを作ること、継続的に指導を行うことができると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税金に関する授業や租税教室を通して、税に関する正しい知識を身に付け、望ましい納税者意識を育成できる指導法を探る。

4 研究の方法

- (1) 児童の税金に関する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 租税教室を開催し、税金の意義や役割について理解を深めさせる。
- (3) 名取市税務課の資料をもとに、学校内や街と税金の関わりについて知り、税金の必要性について考えさせる。
- (4) 税金について学習したことをもとに税金の大切さを「絵はがき」にまとめ、発表させる。
- (5) 事後調査を行い、税金に関する意識の変容をみる。
- (6) 小学校3年生から6年生までに、段階的に税金の学習に取り組むことができるカリキュラムを検討する。

5 研究の計画

学年	単元	内容
5 年	8 月	実態調査
	総合的な学習の時間 9 月	実践授業①税金って何だろう ②税金の使い道の決め方 ③租税教室 (講師 木村経営管理会計 税理士 木村拓也氏) ④昔の税・外国の税 ⑤絵はがきを書こう 「税に関する絵はがきコンクール」応募
	10 月	事後調査 研究のまとめ
3~6 年	11 月	カリキュラム検討
	令和2年11月 (6 学年時)	研究発表会

6 研究の概要

(1) 児童の実態：事前調査（令和元年度5年2組 男16名 女18名 計34名）

実態調査の結果は次の通りである。（令和元年8月26日実施）

- ①税金について知っていることはありますか。（複数回答あり）
- ・知っている（2名）
(納めると公園などができる1名, 税金がなかったら救急車をよぶとお金がかかる1名)
 - ・言葉は聞いたことがあるが意味は知らない（31名）
 - ・言葉も知らない（1名）
- ②税金は誰が納めるものでしょうか。
- ・全国民（大人も子どもも）（7名）
 - ・大人だけ（6名）
 - ・子どもだけ（0名）
 - ・納めたい人だけ（0名）
 - ・分からない（21名）
- ③税金にはどのような種類があるでしょうか。
- ・消費税（4名）・たばこ税（1名）・国税（1名）・だつ税（1名）・税金ぜい（1名）
- ④税金はどのようなことに使われていると思いますか。
- ・国のために使われている（1名） ・被災したところに使われている（1名）
 - ・病院などの公共施設を作るのに使われる（1名） ・ほしい人にあげる（1名）

⑤税金は必要だと思いますか。

・必要（2名）

㊦平和にくらすため1名，ユーチューブで必要と言っていたから1名

・不要（0名）

・分からない（32名）

【考察】

児童の多くは「税金」という言葉は聞いたことがあっても、税金の意味を正しく認識していない。そのため、税金の必要性についても「分からない」児童がほとんどだった。「知っている」と答えた児童においても、税金の種類に「だつ税」や「税金ぜい」と誤った認識をしている児童もいた。

まずは、「税金」とは何かを知ることから始め、なぜ必要なのか考えさせていく。

(2)学習計画（5時間扱い・総合的な学習の時間）

時	主な学習活動	・指導，支援のポイント	評価規準（方法）
1	税金とは何か，何に使われているのかを知る。	・税金がなくなったらどうなるかを考えさせ，税金とは何かを確認する。 ・税金の「とられるもの」というマイナスイメージから，私たちの生活に必要なものであるというプラスのイメージをもたせる。	【課】課題に対して自分なりの予想や見通しをもつことができる。
2	税金の使い道の決め方について知り，選挙の大切さを理解する。	・税金の使い道の決め方について教え，選挙の大切さにも触れる。 ・税金を使って街を作るゲームを通して，具体的なイメージを持たせる。 ・私たちが選んだ国会議員が決められているということは，間接的にだが，私たちが使い道を決めていることに気付かせる。	【他】友達と意見交換したり，一緒に考えたりしながら，税に関して考えを深めたり，多様な考えがあることに気付くことができる。
3	租税教室で，税金についてより詳しいことを知る。	・大きなお金が税金として動いていることを実感し，税金について考える大切さを知る。 ・実際にお金を見せることで，実感をともなって考えることができるようにする。	【他】税の専門家の方の話を聞いたり質問したりしながら，税についての考えを深めることができる。
4	日本の税の変化，外国の税について理解する。	・昔や外国の税と比較させ，税金について客観的に考えさせる。 ・他の税について知り，比較することで，税について自分の考えをもつことができるようにする。	【判・表】税金と自分の生活とのつながりに気づき，外国や日本の過去の税と比較しながら，今の日本の税について考えることができる。

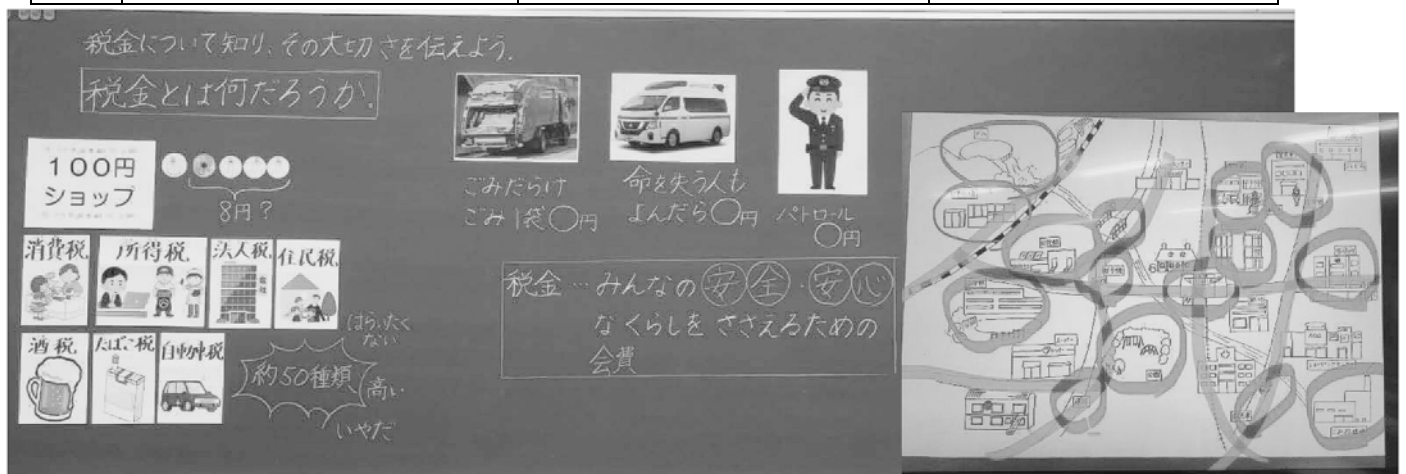
5	税金の必要性や大切さを呼びかける絵はがきを書く。	・学んできたことをもとに、税金とは、安全・安心な暮らしを支えるための会費であり、必要であることを他者にも呼びかけさせる。 ・絵はがきを掲示することで、1対1に留まらず、多くの人に呼びかけることができるようにする。	【判・表】伝える相手を意識して、税金の必要性を伝える絵はがきを描くことができる。
---	--------------------------	---	--

(3)実践の概要

【①税金って何だろう】

段階	主な学習活動	指導上の留意点	評価（方法）
導入 (5分)	1 本時の課題を把握する。 税金とは何だろうか。	・税金という言葉知らない児童もいるので、生活場面から導入を行い、より身近なものとして捉えさせる。 ・100円均一の店を行い代金108円の8円とは何かについて考えさせる。 ・消費税は税金の一種であることをおさえる。	【課】税金とは何に使われているのか自分の考えをもつことができる。 (発言)
展開 (32分)	2 税金の種類について知る。 3 税金の使い道について考える。 ① 教室の中で考える。 ② 街の中で考える。	・消費税、所得税、住民税、法人税、酒税、たばこ税、自動車税など約50種類の税があり、大人も子どもも税を納めていることを確認させる。 ・税金についてのイメージを話し合わせる。 ・教室の中を見渡して、税金が使われているものを見つけさせる。 ・税金が使われている物を見つけたら、✓印をつけ、学校では多くの物に税金が使われていることを視覚的に捉えさせる。 ・税金がなかったら、○○もないという視点で探させ、税金は必要なものであることをおさえる。 ・名取市の簡略した地図を提示し、税金は多くの場所・場面に使われていることを視覚的に捉えさせる。 ・税金がなくなったら、 ① ごみ収集 ② 救急車 ③ パトロールはどうなる 具体的場面についても考えさせる。	

		・考える際には、個人→ペア→グループで段階的に考えさせ、自分で考える時間を確保しながらも、考えることが難しい児童の助けにもなるようにする。	【他】友達と意見交換したり、一緒に考えたりしながら、税に関して考えを深めたり、多様な考えがあることに気付くことができる。（観察）
まとめ (8分)	4 本時の学習を振り返る。 5 次時への意欲を高める。	・税についてのイメージを学習計画表に振り返らせる。 【観点】 ① 税についてのイメージの変容 ② 本時の学習で学んだこと ・国と宮城県の予算総額を知らせ、その使い道を決めているのは誰かを問いかけ、次時へつなげる。	【判・表】税金はみんなの安全・安心なくらしを支えるために必要なものであることを理解し、自分の生活を振り返ることができる。 (ワークシート・発表)



税金とは具体的に何かを知ることで、初めは税金に対して「払いたくない。」「高い。」「嫌だ。」とマイナスのイメージをもつ児童がほとんどだった。しかし、税金が何に使われているのか、教室の中や自分達の住んでいる街の地図から見つけていくことで、私たちの生活に欠かせない物であることを実感したようであった。

☆児童感想

- ・勉強する前は、税金をとりすぎだと思いましたが、今ではみんなの安全・安心を守るために必要なんだなと思いました。
- ・税金は必要ないんじゃないかなと思ってたけど、税金がないと生活できないし、税金は大切なんだなと思いました。

【②税金の使い道の決め方】



税金の使い道の決め方について学んだ後、ゲームを通して実際の街作りを行った。その中で税金をどのように使うか話し合い、いくつかの街を提案させた。楽しんで活動するなかでも、どのような街を目指すのか、税金の使い道に興味・関心が高まったようであった。

さらに、どの街がいいのか選択させ、選挙の大切さについてまで、つなげることができた。

☆児童感想

- ・ みんなのほしいものだけじゃ街は成り立たないんだなと思いました。大人になったら投票したいです。
- ・ 税金は、国民から受け取って使う物なので、使い道をしっかりと考えないとだめなんだと思いました。
- ・ 税金は話し合って使い道を決めるのが分かりました。ぼくも7年後に投票するので、もっと税金について詳しく知りたいと思いました。

【③租税教室】



ゲームを通して、税の集め方について様々な方法があることを学んだり、1億円のレプリカを見て、税金を大切に使うなくてはいけないと感じたりする貴重な機会になった。

☆児童感想

- ・ 同じ金額のお金を集めるのであっても、いろいろな集め方が分かりました。
- ・ みんなが納得するお金の集め方は難しく、答えがないことが分かった。
- ・ 水道の水にも税金が使われていることが分かったので、無駄使いしないようにしたいです。

【④昔の税・外国の税】



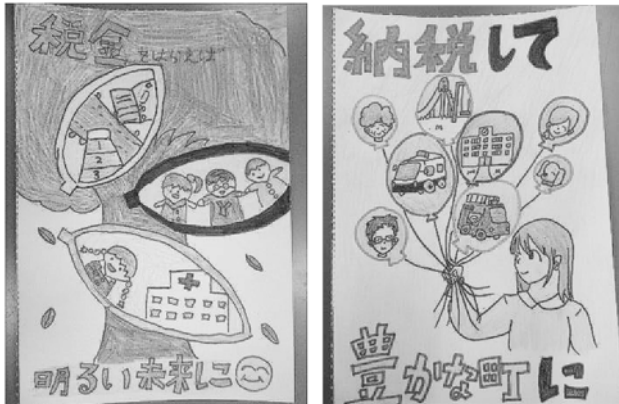
「わたしたちのくらしと税金」を活用した実践。今と昔の税金、日本と外国との税金を比較しながら学習した。児童は、税の変容について学び、6年生の歴史の学習にもつながった。また、外国の税金との比較を行うことで、日本の税金について考えるきっかけとなった。

☆児童感想

- ・ 昔の税金がお米と知ってびっくりしました。昔から税金があるんだなと分かりました。
- ・ 私は、スウェーデンのように税金が高くても医療の保障がされているのがいいなと思いました。

【⑤絵はがきを書こう】

税金の学習のゴールとして「税金の大切さをみんなに伝えよう」ということで、税金の必要性や大切さを呼びかける「絵はがき」作りに取り組んだ。学習したことを振り返りながら、絵はがき作りに取り組むことができた。



☆児童感想

- ・税金がみんなの暮らしを助けていることを絵はがきで表せたので良かったです。家族みんなにはがきを見せて税金の大切さを伝えたいです。
- ・みんなに伝えたい気持ちを書くことができて良かったです。これからみんなに税金について知ってもらって、税金で明るい未来にしていきたいです。

(4)児童の実態：事後調査（令和元年度5年2組 男16名 女18名 計34名）

実態調査の結果は次の通りである。（令和2年1月8日実施）

①税金について知っていることはありますか。（複数回答あり）

- ・知っている（34名）
- ・言葉は聞いたことがあるが意味は知らない（0名）
- ・言葉も知らない（0名）

②税金は誰が納めるものでしょうか。

- ・全国民（大人も子どもも）（34名）
- ・大人だけ（0名）
- ・子どもだけ（0名）
- ・納めたい人だけ（0名）
- ・分からない（0名）

③税金にはどのような種類があるでしょうか。

- ・消費税(31名)・所得税(8名)・法人税(4名)・固定資産税(4名)
- ・たばこ税(2名)・酒税(2名)・住民税(1名)・自動車税(1名)・関税(1名)

④税金はどのようなことに使われていると思いますか。

- ・学校(12名)・学校の机やいす、黒板など(7名)・公園(7名)・道路(5名)・消防署(4名)
- ・警察署や警察官の給料(4名)・救急車(4名)・信号機(4名)・市役所(3名)
- ・教科書(2名)・ダム(2名)・ゴミ処理場やごみ処理のお金(2名)・図書館(1名)
- ・被災した土地の復興(1名)・みんなが使う物(1名)

⑤税金は必要だと思いますか。

- ・必要（34名）
 - ㊤ 生活に必要なものだから・国を豊かにしていくために必要・国民を守るために必要
 - ・みんなのために使われるお金だから・被災した人を助けられなくなるから

- ・未来が明るくなるために必要・生活が不便になってしまうから
- ・学校に行くことができなくなるから・税金がないと街がゴミだらけになるから
- ・消防車が来ないと大変なことになるから・警察官がいないと困るから
- ・ないと困ることがたくさんあるから
- ・不要（0名）
- ・分からない（0名）

7 租税教育を盛り込んだカリキュラムの提案

【第3学年】

教科	月	单元名	小单元・内容・(時数)	税金との関わり
総合	6	にこにこ栽培	5 A D A Y に 参 加 す る 11/20 ・野菜や果物の摂取量を増やす 食育活動。	○スーパーマーケットで買い物を する際に、消費税を意識させる。
社会	4	わたしのまち み んなのまち	市の様子 6/12 ・学校や図書館などの公共施設 が充実していて、便利に生活で きることを押さえる。	○公共施設を作るために、国のお 金が使われていることを伝え る。
	11 12	くらしを守る	火事からくらしを守る 4/7 ・消防署へ行こう	○消防署の活動、消防車や救急車 などに税金が使われていること を押さえる。
	1		事故・事件からくらしを守る 4/9 ・警察の仕事	○警察官の活動に税金が使われて いることを押さえる。
	2	市のうつりかわり	市の様子と人々のくらしの うつりかわり 6/10 ・市の公共施設はいつでもでき たのでしょうか	○学校や図書館などの公共施設 は、昔から計画的に建設されて おり、税金を使って整備された 施設によって人々の生活も変わ ってきたことを押さえる。

【第4学年】

教科	月	单元名	小单元・内容	税金との関わり
社会	6	住みよいくらしを つくる	水はどこから 4・5/11 ・ダム・浄水場の働きについて	○みんなが安全な水を飲むことが できるためのダム・浄水場をつ くるために税金が使われている ことを押さえる。
	7		ごみしよりと利用 4・5/14 ・清掃工場ではごみをどのよう にしてもやしているのか	○清掃工場を作ったり、ごみを処 理したりするために多くの税金 が使われていることを押さえ る。

	9		地震からくらしを守る 4・5／9 ・市の地震対策について調べよう	○津波避難ビルや避難表示などの地震に備えた設備，震災復興に税金が使われていることを押さえる。
--	---	--	--	--

【第5学年】

教科	月	単元名	小単元 ・ 内容	税金との関わり
理科	1 0	台風と天気の変化	台風による災害に対する備えについて 3／4	○災害への対策に税金が用いられていることを押さえる。
	1 0	流れる水のはたらき	川の水による災害や災害に対する備えについて 8／12	○災害への対策に税金が用いられていることを押さえる。
社会	1 2	わたしたちの生活と環境	自然災害を防ぐ 3・4・5／5 ・津波災害への取り組み ・風災害への取り組み ・火山の噴火や大雪への取り組み	○自然災害から国土を保全し国民生活を守るために，国や県などが様々な対策や事業を行う際に税金が用いられていることを押さえる。
家庭	9	持続可能なくらしへ物やお金の使い方	買い物の仕方について考えよう	○買い物をする際には消費税がかかり，税金を払っていることを押さえる。

【第6学年】

教科	月	単元名	小単元 ・ 内容 (時数)	税金との関わり
社会	4	わたしたちの生活と政治	わたしたちのくらしと日本国憲法 3／6 ・くらしの中の基本的人権の尊重	○三大義務の一つである納税の義務によって，今の生活が成り立っていることを押さえる。 ○納税は大人だけではなく，子どもも行っていることを押さえる。
	5		子育て支援の願いを実現する政治 5／7 ・税金の働き	○税金はわたしたちの生活を支える大切なもので，多くの人が必要とする事業に使われることを押さえる。
			震災復興の願いを実現する政治 3・4／7 ・災害復旧に向けた国の支援 ・復興を願う市や市民の取り組み	○税金によって，災害復旧や復興が行えたことを押さえる。

	5 6	★租税教室		○税理士さんから租税について学ぶ。
	7	日本の歴史	天皇中心の国づくり 2 / 6 ・大化の改新と天皇の力の広がり	○国に納める租・調・庸は、現在の税金につながることを教える。
理科	10	変わり続ける大地	地震や火山の噴火による災害や災害に対する備えについて 3 / 4	○災害対策に税金が使われていることを押さえる。

8 カリキュラムの実践（令和元年度）

【第3学年】 ○総合「にこにこ栽培」

5 A D A Y野菜や果物の摂取量を増やす食育活動。

→スーパーマーケットで買い物をする際に、「消費税」を意識して買い物をすることができた。

【第4学年】 ○社会「火事からくらしを守る」

→火事から私たちのくらしを守るために消防署の方々が活躍しているが、その消防署の活動や消防車や救急車などにも税金が使われていることが分かった。私たちの安全なくらしのために税金が必要であることを感じることもできた。

【第5学年】 ○理科「台風と天気の変化」

→台風による被害や災害への対策や備えに、税金が用いられていることが分かった。私たちのくらしに何かあったとき、また、安全を守るために税金がとても大切なことを感じることもできた。

【第6学年】 ○社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」

→三大義務とは、「勤労の義務」「教育を受けさせる義務」と並んで、「納税の義務」があることを学んだ。私たちの安全・安心なくらしを支えるための会費として「納める」必要性を感じていた。



9 研究の成果と課題

（1）成果

【5年生の実践】

- ・税金について知識のなかった児童が税金について理解し、税金は「取られるもの」から「納めるもの」に意識の転換を図ることができた。
- ・税金の必要性が分からなかった児童が、税金に支えられた生活を知ることによって、その必要性を強く感じることもできた。
- ・「わたしたちのくらしと税金」やゲームを活用することで、税金の基礎知識を楽しみながら学ぶことができた。

【カリキュラムの実践】

- ・既存の学習内容に織り込むことで、時数を確保する必要性がなく、無理なく段階的に学ぶことができた。
- ・具体的な場面を通して税金について触れたので、税金と生活のつながりを実感しながら学ぶことができた。また、税金の必要性を感じることもつながった。

(2) 課題

【5年生の実践】

- ・税金に対する正しい知識を身に付けることはできたが、具体的な税金の納付方法などまで触れることができず、研究主題である望ましい納税者を育てるまでには至らなかった。
→小学校段階で租税教育をどこまで進めていくのかの検討の必要性。
- ・5年生の学習の「総合的な学習の時間」の一部で扱ったが、5時間でも時数の確保が難しかった。また、他の学習とのつながりがあまり見られなかった。
→6年生で租税教室を行い、社会科の学習とつなげる。
3年生段階から、少しずつカリキュラムに入れて取り組んでいく。

【カリキュラムの実践】

- ・令和2年度に学習指導要領が改訂になり、各学年のカリキュラムも変更になった。3年生から段階的に継続して税についての学習を実施していく必要がある。

令和3年度
将来積極的に社会に参画していく
納税者を育む指導の工夫
～段階的に継続して育む
カリキュラムを通して～
名取市立増田西
教諭 齋藤

2 主題設定の理由

- ▶ 2019年教室にエアコン設置
- ▶ 消費税が10%になる

↓

多くの児童が「税金」という言葉を知らない
時数の確保と継続性に課題

↓

- ① 税金は「必要なもの」と感じる実践
- ② 小学校3年生から段階的に行うカリキュラム作成

3 研究目標
税金に関する授業や租税教室を通して、税に関する正しい知識を身に付け、望ましい納税者意識を育成できる指導法を探る。

↓

4 研究実践

- ① 意識調査
- ② 租税教室・名取市税務課や国税庁の資料をもとに税金の必要性について考えさせる
- ③ 学習のゴールとして「絵はがき」作り
- ④ 事後の意識調査
- ⑤ 小学校3年生から段階的に行うカリキュラム作成

5 研究の計画

学年	単元	内容
5年	8月	実態調査
	総合的な学習の時間 9月	実践授業①税金って何だろう ②税金の使い道の決め方 ③租税教室 (講師 木村経営管理会計 税理士 木村拓也氏) ④昔の税・外国の税 ⑤絵はがきを書こう 「税に関する絵はがきコンクール」応募
	10月	事後調査 研究のまとめ
3-6年	11月 令和2年11月 (6学年時)	カリキュラム検討 研究発表会

6 研究の概要

(1) 児童の実態 5年2組34名 令和元年8月実施

① 税金について知っていることはありますか。

5%

・知っている(2) ・言葉は聞いたことがあるが知らない(31) ・言葉も知らない

② 税金は誰が納めるものですか。

20%

・全国民(7) ・大人だけ(6) ・子どもだけ(0) ・分からない(21)

③ 税金にはどのような種類があるでしょうか。

・消費税(4) ・たばこ税(1) ・国税(1) ・たばこ税(1) ・税金

④ 税金はどのようなことに使われていると思いますか。

・国のために使われている(1) ・被災したところに使われている(1)
・公共施設を作るのに使われている(1) ・ほしい人にあげる(1)

⑤ 税金は必要だと思いますか。

5%

・必要(2)
理由: 平和に暮らすため(1) ユーチューブで必要と言っていたから(1)
・不要(0)
・分からない(32)

↓

児童の多くが「税金」の意味を正しく認識していない、誤った認識
税金の必要性も「分からない」児童がほとんど

(2) 学習計画 5年 総合的な学習の時間 (5時間扱い)

時	主な学習活動	指導、支援のポイント	評価標準(方法)
1	税金とは何か、何に使われているのかを知る。	税金がなくなったかどうかなかを考えさせ、税金とは何かを確認する。 税金の「とられるもの」というイメージから、私たちの生活に必要なものであるというプラスのイメージをもたせる。	【課】課題に対して自分なりの予想や見通しをもつことができる。
2	税金の使い道の決め方について知り、選挙の大切さを理解する。	税金の使い道の決め方について数え、選挙の大切さにも触れる。 税金を使って街を作るゲームを通して、具体的なイメージを持たせる。 私たちが選んだ国會議員が決めているという点は、間接的だが、私たちが使い道を決めていることに気付かせる。	【他】友達と意見交換したり、一緒に考えたりしながら、税に関して考えを深めたり、多様な考えがあることに気付くことができる。
3	租税教室で、税金についてより詳しいことを知る。	大きなお金が税金として働いていることを実感し、税金について考える大切さを知る。 実際に税金を見せることで、実感をもたせて考えることができるようにする。	【他】税の専門家の方の話を聞いたり質問したりしながら、税についての考えを深めることができる。
4	日本の税の変化、外国の税について理解する。	昔と外国の税と比較させ、税金について客観的に考えさせる。 外国の税について知り、比較することで、税についての考えをもつことができるようにする。	【明・表】税金と自分の生活とのつながりに気付く。外国や日本の過去の税と比較しながら、今の日本の税について考えることができる。
5	税金の必要性や大切さを呼びかける絵はがきを書く。	学んできたことをもとに、税金とは、安全・安心な暮らしを支えるための金銭であり、必要であることを他者にも気付かせる。 絵はがきを提示することで、1月1日に届く。多くの人に呼びかけることができるようにする。	【明・表】伝える相手を意識して、税金の必要性を伝える絵はがきを書くことができる。

(3) 実践の概要

税金について知ろう			
5年 組 番 ()			
時間	課題	より深い(本物の学習であったことより深いこと)	評価
1	税金とは何だろうか。		
2	税金の使い道はどうやって決めるのだろうか。		
3	専門の先生から税金についてくわしく学ぶ。		
4	昔にも税金があったのか。外国にもあるのか。		
5	税金の大切さをみんなに呼びかける絵はがきを書く。		

単元構想表 (児童配付用)

総合的な学習の時間 計5時間計画

(3) 実践の概要

【①税金とは何だろうか】 1 / 5 時間目

税金とは税金の種類
税金がなくなったら



(3) 実践の概要

【①税金とは何だろうか】 1 / 5 時間目

税金が使われているもの探し
①教室の中から探す
②学校周辺から探す



(3) 実践の概要

【①税金とは何だろうか】 1 / 5 時間目

児童感想

▶勉強する前は、税金をとりすぎだと思いましたが、今ではみんなの安全・安心を守るために必要なんだなと思いました。

▶税金は必要ないんじゃないかなと思っていましたが、税金がないと生活できないし、税金は大切なんだなと思いました。

(3) 実践の概要

【②税金の使い道】 2 / 5 時間目



名取市立増田西小学校

(3) 実践の概要
【②税金の使い道】2 / 5 時間目

(3) 実践の概要
【②税金の使い道】2 / 5 時間目

児童感想

- ▶ みんなのほしいものだけじゃ、街は成り立たないんだと思いました。大人になったら投票したいです。
- ▶ 税金は、国民から受け取って使う物なので、使い道をしっかりと考えないとだめなんだと思いました。
- ▶ 税金は話し合って使い道を決めるのが分かりました。ほくも7年後に投票するのでもっと税金について詳しく知りたいと思いました。

(3) 実践の概要
【③租税教室】3 / 5 時間目

「お金の集め方」ゲーム
・税の集め方には多様な方法がある
・1億円のレプリカをもって

(3) 実践の概要
【③租税教室】3 / 5 時間目

児童感想

- ▶ 同じ金額のお金を集めるのであっても、いろいろな集め方があることが分かった。
- ▶ みんなが納得するお金の集め方は難しく、答えがないことが分かった。
- ▶ 水道の水にも税金が使われていることが分かったので、無駄にしないようにしたいです。

(3) 実践の概要
【④昔・外国の税】4 / 5 時間目

(3) 実践の概要
【④昔・外国の税】4 / 5 時間目

児童感想

- ▶ 昔の税金がお米と知ってびっくりしました。昔から税はあるんだと分かりました。
- ▶ 私は、スウェーデンのように税金が高くても、医りょうのほしようがされているのがいいなと思いました。

名取市立増田西小学校

(3) 実践の概要

【⑤絵はがきを作ろう】5 / 5 時間目



(3) 実践の概要

【⑤絵はがきを作ろう】5 / 5 時間目

児童感想

▶税金がみんなの暮らしを助けていることを絵はがきで表せたのでよかったです。家族みんなにはがきを見せて税金の大切さを伝えたいです。

▶みんなに伝えたい気持ちを書くことができてよかったです。これからみんなに税金について知ってもらって、税金で明るい未来にしていきたいです。

(4) 児童の変容 (事後アンケートから)

① 税金について知っていることはありますか。

・知っている (34) ・言葉は聞いたことがあるが知らない (0) ・言葉も知らない (0)

+32

② 税金は誰が納めるものですか。

・全国民 (34) ・大人だけ (0) ・子どもだけ (0) ・分からない (0)

+27

③ 税金にはどのような種類があるでしょうか。

・消費税 (31) ・所得税 (8) ・法人税 (4) ・固定資産税 (4)

・たばこ税 (2) ・酒税 (2) ・住民税 (1) ・自動車税 (1) ・関税 (0)

④ 税金はどのようなことに使われていると思いますか。

・学校 (12) ・学校の机や机、黒板など (7) ・公園 (7) ・道路 (5)

・消防署 (4) ・警察署や警察官の給料 (4) ・救急車 (4) ・信号機 (4)

・市役所 (3) ・教科書 (2) ・ダム (2) ・ゴミ処理場やゴミ処理 (2)

・図書館 (1) ・被災した土地の復興 (1) ・みんなが使う物 (1)

⑤ 税金は必要だと思いますか。

・必要 (34) +32

理由：生活に必要なものだから 国を豊かにしていくために必要

国民を守るために必要 みんなのために使われるお金だから

被災した人を助けられなくなるから

・不要 (0)

・分からない (0)

7 租税教育を盛り込んだカリキュラム (提案)

【第3学年】

教科	月	単元名	小単元・内容・(時数)	税金との関わり
総合	6	ここにご栽培	5 DAY に参加する 11/20 ・野菜や果物の摂取量を増やす食育活動	○スーパーマーケットで買い物をする際に、消費税を認識させる。
社会	4	わたしのまち みんなのまち	市の様子 6/12 ・学校や図書館などの公共施設が充実している、便利に生活できることを押さえる。	○公共施設を作るために、国のお金が使われていることを伝える。
	11	くらしを守る	火事からくらしを守る 4/7 ・消防署へ行く	○消防署の活動、消防車や救急車などに税金が使われていることを押さえる。
	12	事故・事件からくらしを守る	4/9 ・警察の仕事	○警察官の活動に税金が使われていることを押さえる。
	1	市のうつりかわり	市の様子と人々のくらしのうつりかわり 6/10 ・市の公共施設はいつごろできたのでしょうか	○学校や図書館などの公共施設は、昔から計画的に建設されており、税金を使って整備された施設によって人々の生活も変わってきたことを押さえる。

【第4学年】

教科	月	単元名	小単元・内容	税金との関わり
社会	6	住みよいくらしをつくる	水はどこから 4・5/11 ・ダム・浄水場の働きについて	○みんなが安全な水を飲むことができるためのダム・浄水場をつくるために税金が使われていることを押さえる。
	7	ごみしよりと利用	4・5/14 ・清掃工場ではごみをどのようにして処理しているのか	○清掃工場を作ったり、ごみを処理したりするために多くの税金が使われていることを押さえる。
	9	地震からくらしを守る	4・5/9 ・市の地震対策について調べよう	○津波避難ビルや避難表示などの地震に備えた設備、震災復興に税金が使われていることを押さえる。

【第5学年】

教科	月	単元名	小単元・内容	税金との関わり
理科	10	台風と天気の変化	台風による災害に対する備えについて 3/4	○災害への対策に税金が用いられていることを押さえる。
	10	流れる水のはたらき	川の水による災害や災害に対する備えについて 8/12	○災害への対策に税金が用いられていることを押さえる。
社会	12	わたしたちの生活と環境	自然災害を防ぐ 3・4・5/5 ・津波災害への取り組み ・風災害への取り組み ・火山の噴火や大雪への取り組み	○自然災害から国土を保全し国民生活を守るために、国や県などが様々な対策や事業を行う際に税金が用いられていることを押さえる。
	9	持続可能な暮らしへ物とお金の使い方	買い物の仕方について考えよう	○買い物をする際には消費税がかかり、税金を払っていることを押さえる。

【第6学年】

教科	月	単元名	小単元・内容（時数）	税金との関わり
社会	4	わたしたちの生活と政治	わたしたちの暮らしと日本国憲法 3/6 ・暮らしの中の基本的人権の尊重	○三大義務の一つである納税の義務によって、今の生活が成り立っていることを押さえる。 ○納税は大人だけではなく、子どもも行っていることを押さえる。
	5		子育て支援の願いを実現する政治 5/7 ・税金の働き	○税金はわたしたちの生活を支える大切なもので、多くの人が必要とする事業に使われることを押さえる。
			震災復興の願いを実現する政治 3・4/7 ・災害復旧に向けた国の支援 ・復興を願う市や市民の取り組み	○税金によって、災害復旧や復興が行えたことを押さえる。
	5 6	★租税教室		○税理士さんから租税について学ぶ。
	7	日本の歴史	天皇中心の国づくり 2/6 ・大化の改新と天皇の力の広がり	○国に納める租・調・庸は、現在の税金につながることを教える。
理科	10	変わり続ける大地	地震や火山の噴火による災害や災害に対する備えについて 3/4	○災害対策に税金が使われていることを押さえる。

8 租税教育を盛り込んだカリキュラム (実践)

【第3学年】

○総合「にこにこ栽培」

5 ADAY：野菜や果物の摂取量を増やす教育活動。



スーパーマーケットで買い物を
する際に税金の一つである
「消費税」を意識して買い物を
することができた。



8 租税教育を盛り込んだカリキュラム (令和元年度・実践)

【第4学年】

○社会「火事からくらしを守る」

わたしたちのくらしを火事から
守るために消防士さんたちの活躍
があることを学ぶ。



消防車や救急車、消防署の活動
には税金が使われていることが
分かった。安全なくらしのために
税金が必要であることを感じた。



8 租税教育を盛り込んだカリキュラム (実践)

【第5学年】

○理科「台風と天気の変化」

台風による被害や災害に対する
備えについて学ぶ。



災害への対策に税金が使われて
いることを学んだ。みんなの安全
を守るために税金がとても大切な
ことを感じるすることができた。



8 租税教育を盛り込んだカリキュラム (実践)

【第6学年】

○社会「わたしたちの暮らしと日本国憲法」

日本国憲法に記されている権利と
義務について学ぶ。



三大義務の一つとして「納税の
義務」があることを学んだ。私た
ちの安全・安心なくらしを支える
ための会費として「納める」必要
性を感じるすることができた。



9 研究の成果と課題

(1) 成果

【5年生での実践】

- ・知識のなかった児童が税金について正しく理解できた
- ・税金は「取られるもの」から「納めるもの」へ意識の転換
- ・税金の必要性を強く感じることができた
- ・パンフレットやゲームの活用→税金の基礎知識を楽しく学べた

【カリキュラムの実践】

- ・時数の確保の必要性がなく、無理なく段階的に学べた
- ・具体的な場面で扱った→税金と生活のつながりを実感できた
→税金の必要性を感じることができた

9 研究の成果と課題

(2) 課題

【5年生での実践】

- ・税について基礎・基本は身に付けることができたが具体的な納税方法までは触れることができなかった
→小学校段階で租税教育をどこまで進めていくのか検討の必要性
小中連携
- ・5年生「総合的な学習の時間」の一部で扱ったが、時数の確保の難しさ。
→6年生で租税教室を行い、社会科の学習とつなげる
→3年生段階から少しずつカリキュラムに入れて取り組んでいく

【カリキュラムの実践】

- ・学習指導要領改訂によるカリキュラムの変更
→3年生から段階的に実施していくので、これから指導を継続していく。